

# 流山市の小中一貫教育

## 小中一貫した教育を進める形

流山市では 小中一貫した教育を全ての学校で実施していきます。

### 基本方針

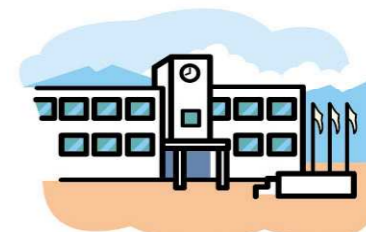
- それぞれの小・中学校に在籍している児童生徒に「豊かな心と確かな力」を義務教育9年間の一貫した教育で育みます。
- 小・中学校でそれぞれが築いてきた良さと地域の特性を生かし、中学校区ごとの小中連携をより充実させ、地域と一体となった一貫した教育をすすめます。

小中隣接型



小中学校が隣接しており、職員の行き来が容易で連携をとりやすい学校です。西初石小・中 南流山小・中など

小中併設型



同一敷地に小中学校が併設しているのにより広く深い連携が期待できます。新市街地地区小中学校はこの形です。

連携校型



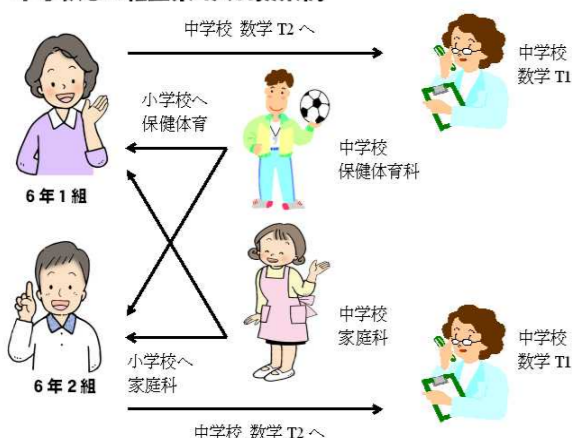
中学校区ごとに小中学校が連携し合い、それぞれの地域の特性や、小中学校が今まで築いてきたそれぞれの良いところを生かし、学校としての力を高められるよう、様々な工夫をしていきます。ほとんどの学校はこの形になります。

## 小中一貫した教育を進める3つの視点

### 教員の連携により「確かな力」を育てます

- 子どもの意欲や、ほどよい緊張感を大切に、小中の区切りを重んじながら、小・中学校の教員の連携を密にして「学びのつながり、指導のつながり」を強めていきます。
  - ・合同研修会 ・9年間を見通した「つきたい力」 ・生徒指導や特別支援教育等の共通理解など
- 小学校の学級担任制と教科担任制のつながりをスムーズにするための取り組みも考えていきます。

#### 中学校との相互乗り入れ授業例



### 児童生徒の交流を通して「豊かな心」を育てます

- 児童・生徒の交流はこれまでも盛んに行われています。小中合同の部活動やクラブの練習、合同コンサート、中学生による小学校での学習支援、合同あいさつ運動、音読副読本の活用を図った群読の交流など、学校の実情に合わせて様々な取り組みがなされています。



- ・部活やクラブ
- ・行事での交流
- ・あいさつ運動
- ・合同児童生徒会
- ・音読
- ・小学生の中学校体験ウイーク
- ・中学生の小学校での卒業前ボランティア活動

### 地域による協働の取り組みで教育力の向上を図ります

- 学校ではこれまでも PTA や地域の方々からたくさんの支援をいただいています。また、地域の方を学校へ招いたり、地域の行事等へ参加したりしてきました。これを小中一貫した教育の観点から、各中学校区で9年間を通じた地域との関わりにしていきます。



- ・合同家庭教育学級
- ・合同流山版学校評議員
- ・地区の集いの活用
- ・合同学区清掃活動
- ・学校支援地域本部

### 小中一貫教育推進の経過

- ・平成17年 小中教員留学体験始まる
- ・平成22年 小中一貫教育推進準備委員会 全中学校区で小中一貫のための組織作りと年間計画作成
- ・平成23年 新市街地地区小中併設校開校
- ・平成27年

### 9年間で育てる英語の力

- 小学校5・6年生で始まった外国語活動には全ての学校に英語指導員を配置し、担任と指導員とのT.T体制で授業を行っています。
- 流山市には英語スーパーバイザーが3人います。各小学校へ派遣され、ネイティブイングリッシュと海外の文化を児童に伝えています。
- 小学校の担任と英語指導員、英語スーパーバイザーが連携し、小学校1年生から英語に親しむ活動を計画的に進めます。
- 小学校から中学校への移行をスムーズに行うため、中学校の英語教員が小学校で授業をすることもあります。
- 中学校では、各学校にALTを配置し、授業はもちろんのこと、行事や特別活動、給食などあらゆる場面で一緒に活動する中で、ネイティブな英語に自然に触れ、生徒が英語を使う機会を増やします。